



院長 須藤 英仁

当院ご利用の患者さま皆様、職員の皆さん明けましておめでとうございます。今年が皆様にとりまして、よい年となりますよう心からお祈りしております。

医療を取り巻く環境はますますきびしい状況になっておりますが、こんなことになげいていても、何の問題解決にもなりません。私どもの病院では、今年度、次の計画を立て、実行して行こうと考えております。

患者さん皆様にはこの文章をよく読んで頂き、少しでもとどこおっている様ならば、叱咤激励を頂きたいと思っております。また、全職員がその問題解決の為の努力をおこたっている様ならば、すぐにご指摘いただきたいと思っております。

① 患者さんの安全に関する問題

当院では外来・入院にかかわらず投薬・点滴等を行う際に、必ず〇〇さんですね。これから〇〇を

します。というように、本人の名前と実行する医療内容を声に出して告げ、患者さんに確認して頂いております。

もし注射・点滴等をする際に、実行していない職員がおりましたら、すぐにご連絡下さい。ただちに指導を行います。

先日当院で、経管栄養（管から直接胃内に食事を注入する方法）の患者さんの名前が間違っていることがありました。ご家族よりご指摘をいただき、すぐに変えることができました。患者さんの名前を間違えることはもっとも基本的な問題です。当院では同姓同名の方のチェックは充分に行っておりますが、今後はさらに声を出し、患者さんにも確認をしていただく事を、徹底させていきたいと思っております。患者さんにご協力いただきますが、是非よろしくお願いいたします。

② 施設の改善

今年度、当院では従来までのヘリカルCTを、最新のマルチスライスCTに変える計画をしております。検査の種類にもよりますがおよそ20秒前後の時間で胸部・腹部全てのCT画像が撮影終了になります。

このように従来に比べ撮影時間が格段に短くなる為、最終的に検査結果を渡すまでの時間短縮が見込まれ、最短で従来の1/3程度にすることが出来ます。

また、これだけ早い時間で検査が終了しますので、呼吸などの動きによる影響が少なく、これまでのCTよりさらに鮮明な画像を、より高精度に完成させることができます。今後、肺がん、肝臓がん、脳内出血等すべての診断にさらに力を発揮してくれると期待しております。

さらに乳房撮影装置（マンモグラフィーと言います）を新型機種に変更します。現在女性のがんでもっとも急激にその数が上昇しているのが乳がんです。統計では30人に1人の女性が乳がんを発症するそうです。

乳がん検診をマンモグラフィーを使って行った場合、見て触って調べるだけの触診検診と比較すると、約3倍発見率が上がるといわれています。それだけ早期がんの発見率が上がるわけです。

これまでも当院ではマンモグラフィーにより、乳がんの早期発見に力を尽くしてきましたが、この装置導入によりさらに優れた画像診断能力を得ることになるでしょう。ぜひご期待いただきたいと思っております。なお当院ではすでに小野聡先生と泉勝先生が検診マンモグラフィー

読影医師認定試験に合格しており、いつでも乳がん検診を行う準備が調っております。

③ 情報・お知らせについて

先ほどマルチスライスCT・マンモグラフィーで述べましたように、これら当院で行っていること、出来ることについては積極的に患者さんにお知らせをしていきます。これまで何となく発行していた情報誌「オアシス」については、年4回の発行をいたします。1・4・7・10月と発行していきたいと思っております。このオアシスの紙面より、皆様へ積極的に医療情報をお知らせしていきたいと思っております。4月に発行する36号では、おそらくCTとマンモグラフィーについてのより詳しい説明が紙面を飾ると思っております。

以上年頭に当たりいろいろと述べましたが、当院は地域の皆様に支えられている病院であります。今後もぜひ患者さん、またご家族の皆さんにも参加していただき、安全で診断能力の高い病院を作っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

薬局より皆様へ

薬剤師 齊藤 武史

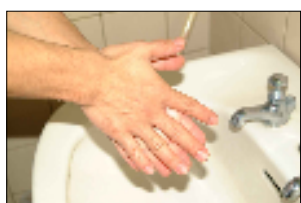
今冬は日本国中でインフルエンザワクチンが不足する事態が生じました。当院でもインフルエンザワクチンの接種を希望する患者様全員にワクチンを接種することができず、大変御迷惑をおかけしました。今後はこの様な事態が起こらないよう対応してまいります。

いよいよ本格的に冬となり、インフルエンザも流行してきました。インフルエンザのもっとも有効な予防手段はワクチンの接種です。

しかし、ワクチンを接種してもインフルエンザにかかる場合もあります。ワクチン以外にもインフルエンザの流行時期には、人ごみを避ける、出かける際はマスクをする、手洗いやうがいをすることも有効な予防手段のひとつです。効果的な手洗い方法を紹介しますので参考にしてください。うがいや手洗いだけでなく睡眠を充分にとり、生活のリズムをくずさないように日頃から心がけることも大切です。またバランスのとれた食生活や適度な運動で、ウイルスに負けない体力をつくりましょう。

★ 効果的な手洗い方法 ★

①手をぬらし、薬用液体石鹸をつけてから、手のひらをよくこすりあわせましょう。(5秒以上)



②手の甲も良くこすり合わせます。(左右5秒以上ずつ)



③指先・爪の間も忘れずに。(手のひらで渦を巻くように5秒以上)



④指の間もしっかりと。(5秒以上)



⑤親指を手のひらで包み、ねじり洗いをします。(5秒以上)



⑥手首まで丹念に。(左右5秒以上ずつ)



⑦流水でよく洗い流します。



⑧ペーパータオル等でよく拭いて乾燥させます。



ちょっといい話

在宅看護支援センター めぐみ

あけまして、おめでとうございます。「寒い、寒い」と、こたつの番人になっていませんか？天気の良い日は、お散歩へ出かけましょう。

さて、今回は病気や加齢のために、介護が必要となられた方でも「人」「物」「環境」を揃えることで在宅での生活が可能になるという話をします。

「人」…ヘルパー、訪問看護、訪問リハビリ、通所施設のスタッフ等

「物」…ベッド、車いす、ポータルトイレ、杖、歩行器、介護食器などの自助具等

「環境」…手すりの設置、段差の解消、ドアノブや引き戸の変更等

例えば、「オムツをあて、食事は養ってもらい、寝たきりから床ずれができていいる」そんな方のもとへ担当医の指示で訪問看護が床ずれを処置し、リハビリのスタッフが在宅で機能訓練をする。ベッドを入れることで立ち上がりが容易になり、ポータブルトイレを使

いおむつが外れる。ヘルパーが訪問し、食べやすく調理し、介護食器やスプーンを使い自分で食事を口に運ぶ。

さあ、外へ出ましょう！

車いすに乗り、施設へ出かける。話し相手が、仲間ができます。介護者にも休養時間ができます。施設でお風呂に入り、リフレッシュしたらリハビリをする。杖や歩行器を使い歩けるようになったら、自宅に手すりを付けたり、段差をなくしたりする。

夢を語っているのではありません。こうした働きかけの中、何人もの方が在宅での生活を送っています。

しかし、漫然と揃えれば良い物ではありません。専門知識を持った医師・看護師をはじめ、介護支援専門員・理学療法士・介護福祉士・管理栄養士・福祉用具専門相談員・福祉住環境コーディネーター等々スタッフがご相談に応じます。

また、支援センターでは、いつまでもお元気で住み慣れた地域で生活を送るために、予防事業も行っています。

公民館等で開催される「ふれあいデイサービス」にも是非、ご参加ください。

外来通信

外来看護師長 堀 優子

明けましておめでとうございます。昨年は患者様から多くの助言をいただきありがとうございました。今後は患者様に信頼される医療スタッフがそろった病院だと感じていただけるよう更に努力をして行きたいと思えます。

今までは、慢性的な人員不足により「忙しそうだね」「大変だね」等、患者様から労いの言葉をかけていただきました。私たちもその言葉に甘え、患者様の訴えや疑問を感じつつも、忙しさを理由にして目をそむけ、背を向けてきたのではないかと感じています。今年「何でもお尋ねください、どのような事でもお答えいたします。」という、患者様に信頼して頂ける病院に一步一步近づく努力をしてまいります。

また、待ち時間の短縮、情報提供の充実に特に配慮してまいりたいと思えます。患者さまと共に身体と心の健康の増進を感じあえる病院であり、私たちがその目的のもとに勤めていく職場でありたい。これが私どもの願いであります。ぜひスタッフにお気軽に声をお掛けください。

患者さまの健康の回復、私たちの医療技術の向上、自己改革に努めてまいりたいと思えます。本年も宜しく願致します。



はしごのり来たる！

今年も安中若鷺会の皆様による新春はしごのりが、当院及び老人保健施設めぐみで行われました。

見学者は、ドキッとするような技・力強い演技に魅了されている様子でした。また来年も、すばらしいはしごのりを是非ともよろしくお願い致します。

